

未来医療GPワークショップ

こんなときどうする？

患者が訴える症状へのアプローチ

～すべての医療職に求められる初期対応～



イメージ・キャラクター
みらいちゃん

目の前で、患者さんの具合が悪くなった時、 あなたは自信を持って適切な対応が取れますか？

医療者にとって最も不安の大きい場面とは、「患者の異変に出会うこと」といわれます。

その時、医療者は素早く必要な情報を集め、重症度を判断して、適切な対応を取らなければなりません。また、医師に連絡するタイミング—今すぐに医師を呼びべきなのか、あるいは今日中の報告でいいのか—をその場で判断しなければなりません。

本セミナーは、医療現場で出会うことの多い「症候」に対し、ケーススタディ方式で学びます。具体的には、症例の最初の情報を提示して、その場面で医療者は何を考え、どのように情報を集め、どう動くべきか、受講者がディスカッションしながらその対応を身につけていきます。

対象は、医師以外の医療職・学生(医学生を含む)です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



ジェネラルT先生

開催案内

日程：平成28年10月5日(水)
～11月21日(月)

全5回(1回だけの参加も可能です)

対象者：医師以外の医療職、
学生(医学生を含む)

参加費：無料(定員・各回100名)

講師：前野 哲博 先生
(筑波大学教授／附属病院総合診療グループ長
／総合臨床教育センター部長)

会場：筑波大学医学エリア
イノベーション棟8階 講堂

お問合せ先：総合診療医養成事業推進支援室
(担当：早川・横谷)

TEL：029-853-3523

FAX：029-853-3687

E-mail：mirai.iryō@un.tsukuba.ac.jp

プログラム(予定)

開催時間は毎回 17:30～19:00 です

- ★ 第1回：めまい 10月5日(水)
- ★ 第2回：動悸 10月13日(木)
- ★ 第3回：腹痛 10月24日(月)
- ★ 第4回：腰背部痛 11月10日(木)
- ★ 第5回：風邪 11月21日(月)

【お申込み先】

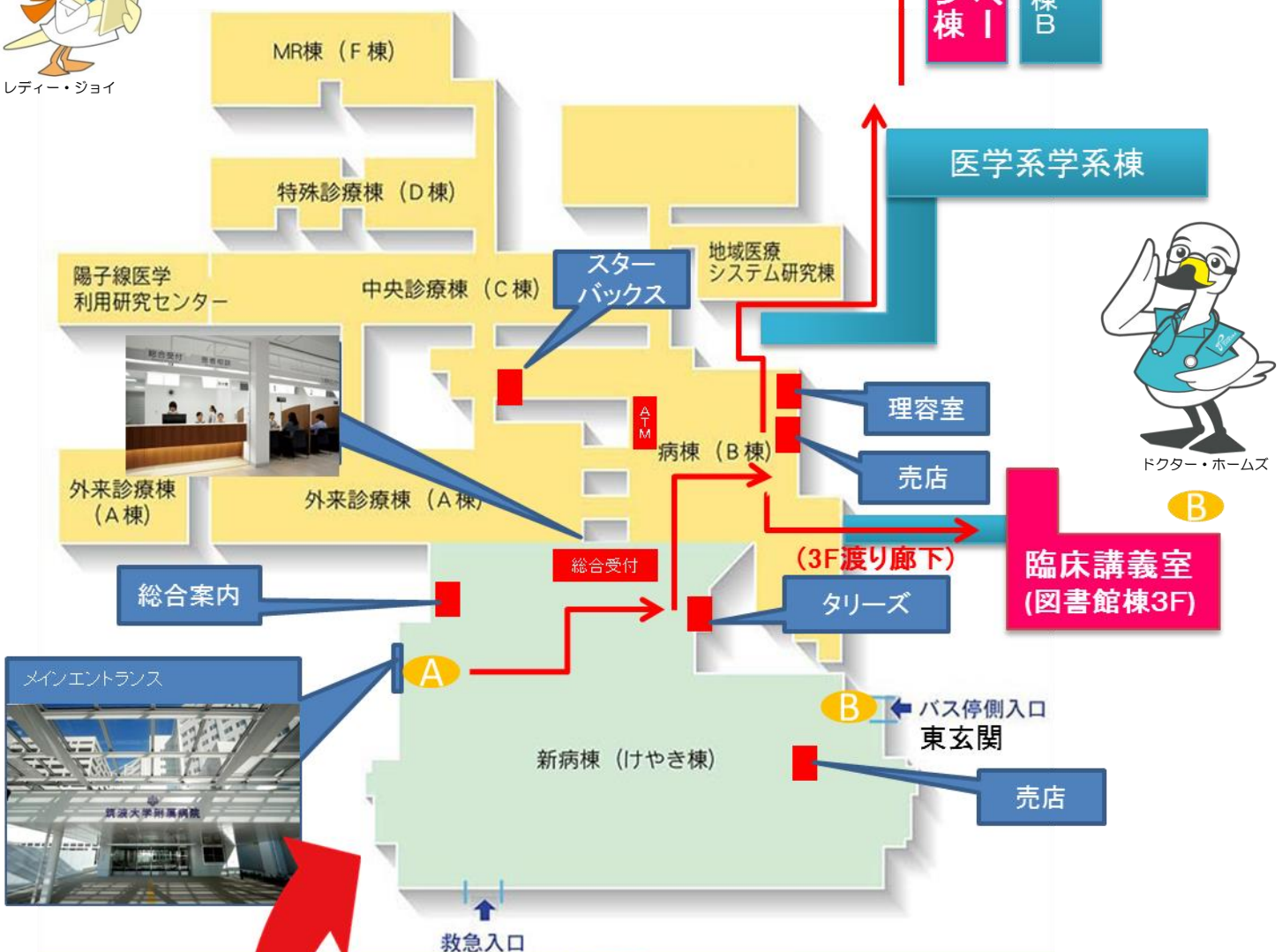
総合診療医養成事業推進支援室
(担当：早川・横谷)
FAX：029-853-3687

同封の申込書にご記入のうえ、FAXにて上記宛
ご送信ください。

お申込み受付後、e-learning教材へのアクセスコードをお送りします。
効果的な研修のために、事前学習をしてからのご参加をお願いします。



イノベーション棟と臨床講義室 までのアクセス(案内図)



- A** 本院の駐車場利用または筑波大学附属病院行のバスに乗った場合
- B** 「筑波大学中央」または「筑波大学循環(右回り)」行のバスに乗り、筑波大学病院で降りた場合
- C** おいし 「追越学生宿舎前」で降りた場合

筑波大学
附属病院